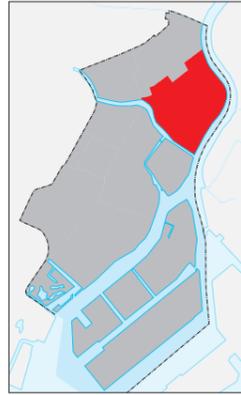


# B 現在の町なみ



日本橋人形町一〜三丁目、日本橋浜町一〜三丁目  
 日本橋小網町、日本橋箱崎町  
 日本橋蛸殻町一〜三丁目、日本橋中洲

このエリアは、隅田川、日本橋川に囲まれ、さらに高速道路が走る。東京シティエアーターミナルやホテル、たくさんのビルがあるが、かつては大名屋敷が建ち並ぶ静かなところだった。人形町にたくさんの飲食店があるのは、江戸時代からの名残だ。1872(明治5)年に、水天宮がこの地に移ってから、さらににぎやかな商店街として発展し、今も続いている。



このエリアは赤い部分。

## 日本橋人形町

人形町商店街があり、さまざまな飲食店や店が多く集まっている。江戸時代の下町の雰囲気が残る町だ。かつてこの辺りは、人形芝居小屋がたくさんあった。そのため、人形をつくる店もあったので「人形町」とよばれていた。正式な町名ではなかったが、だれもが人形町とよんでおり、自然と町名になった。

## 日本橋浜町

隅田川沿い(地図右)に位置し、明治座、浜町公園がある。浜町公園は、関東大震災後につくられた。江戸時代は、二〜三丁目は武家屋敷が多く静かな地域で、このころからからすでに浜町とよばれていた。

## 日本橋蛸殻町

二丁目には水天宮と有馬小学校がある。明治維新後は、一丁目1番に西郷隆盛、三丁目3番に久留米藩主有馬頼匡(有馬小の創立者の四男)の家が一時期あった。町名の由来は、昔は家の屋根にカキの殻を使っており、その殻をあつかう職人が住んでいたことからついたといわれる。

## 日本橋小網町

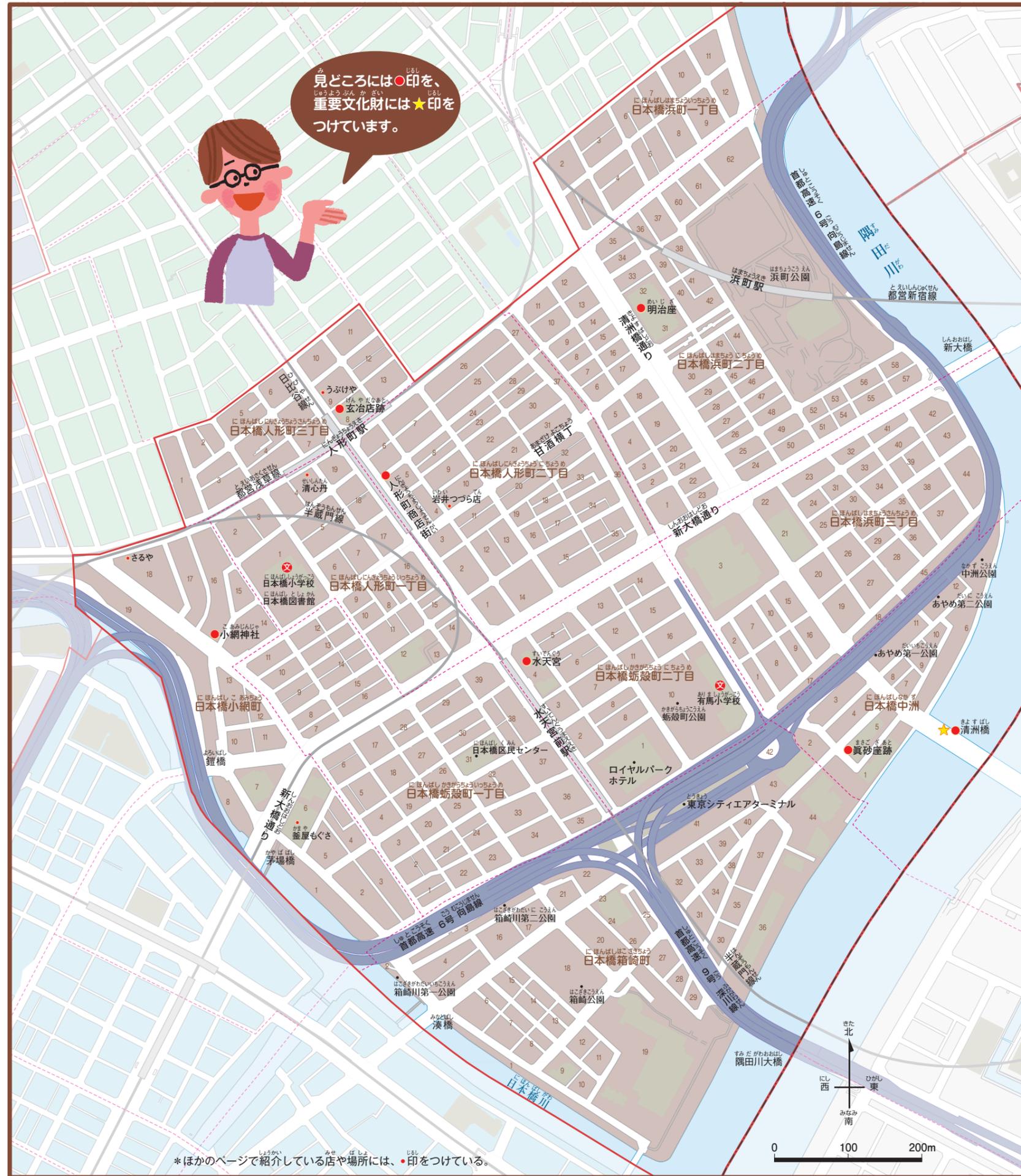
川をはさんだ西側の茅場町は証券会社が多く集まっているが、この町にも証券関係の会社が多い。江戸時代初期は、漁村としてにぎわっていたが、今はその面影はない。町名の由来は、小網神社の名にちなむとされているが確実ではない。漁師がたくさん住んでいたので船や漁の道具をあつかう問屋などがあった。

## 日本橋箱崎町

東京シティエアーターミナルがあり、ビルやマンションがたくさん建っているが、江戸時代は武家屋敷だった。町名の由来は、筑前箱崎(現・福岡市東区)からつけられた説と、箱崎池があったからという2つの説がある。

## 日本橋中洲

川に面してビルや倉庫、住居が建ち並んでいる。明治時代に埋め立ててできた地域なので、江戸時代の地図を見ると川になっている。江戸時代以降、埋め立てられたり、川に戻されたりしたが、1886(明治19)年に再び埋め立てられ、中洲町と名づけられた。



見どころには○印を、重要文化財には★印をつけています。



\*ほかのページで紹介している店や場所には、●印をつけている。